



新しく 新技術

紫外線を当てると無色
透明から瞬時に緑色に変



青山学院大チームが開発した特殊な有機分子の溶液。紫外線を当てた領域は瞬時に緑色に着色し、照射をやめると瞬時に色が消えます

紫外線で発色・消色瞬時に

わり、照射をやめると瞬時に無色に戻る。青山学院大学の研究チームが、特殊な有機分子の開発に成功しました。調光サンングラス、塗料、日傘、

新型ディスプレイなどへの応用が期待されます。

研究チームは、半世紀前に日本の研究者が発見した「ヘキサアールビスイミダゾール（HAB I）」と呼ばれる物質に着目しました。HAB Iは無色ですが、紫外線を浴びると一部の結合が切れて、赤紫色の2個の分子に分かれて赤紫色になります。照射をやめると無色に戻りますが、バラバラになった2個の分子が再結合して元の無色に戻るには数分間もかかってしまいます。

研究チームは、2個の有機分子を利用して、空間に浮かび上がって見える動く立体画像（ホログラム）をつくることも可能だ」と話しています。

この有機分子をプラスチックに混ぜることで、光に瞬時に反応する調光サンングラスをつくることができます。

研究チームの阿部二朗准教授は「今回開発した有機分子を利用して、空間に浮かび上がって見える動く立体画像（ホログラム）をつくることも可能だ」と話しています。

研究チームは、2個の有機分子を利用して、空間に浮かび上がって見える動く立体画像（ホログラム）をつくることも可能だ」と話しています。